

平成23年度 加唐小学校 学力向上アクションプラン

- 1 目標 基礎・基本の学力を身につけ、他人を思いやる優しい心を持ち、自主自立したたくましい児童生徒の育成
「永遠の目標」 つ…（強い体） ば…（ばりばり勉強） き…（きちんと挨拶）

2 実践目標

- 基礎・基本を大切にされた教科経営。9年間を見通した小中一貫による学習指導
- 教科・領域のみならず全教育課程での人権・同和教育の充実
- 家庭や地域に信頼される開かれた学校づくりの推進
- 教科・領域での指導及び生活指導での健康・体力づくりの推進

3 成果目標

- 小・中一貫した「個別指導」や「繰り返し学習」により、基礎・基本の力の定着と発展的学習への意欲向上
- 返事・挨拶を基本とした基本的生活態度の定着
- 家庭や保護者への情報公開により、授業参観等の参加者が増加する
- 生活指導及び保健指導の充実により、自己健康管理意識が向上する

4 現 状

(1) 児童の実態

- ・ 授業へ取り組む態度、家庭学習への取り組みは定着している。
- ・ 繰り返し学習や個別指導では基礎・基本の力が定着しつつあるが、まだ十分ではない児童もいる。
- ・ 小中併設校であり、児童・生徒間の仲は良く、何事も協力して取り組んでいる。
- ・ 挨拶について、学校評価アンケートでは児童や職員の評価に比べて、保護者の評価が低い。

(2) 県の学力・学習状況調査の結果等について

今年度実施の5学年の佐賀県学習状況調査（4月実施）では、国語、社会、算数において県平均を約10ポイント上回っているが、理科は県平均を約3ポイント下回っているという結果であった。理科については、実生活と関連づけた指導の充実を図るなどして、理科を学ぶことの意義や有用性を実感する機会を持たせることが重要である。また、算数科の特に発展・応用・活用についての指導についての、教育課程や授業改善への工夫にも取り組みたい。

また、6学年では県平均を約22ポイントから35ポイント上回ることができた。日ごろから基礎基本の徹底を図り、繰り返し学習や個別指導の成果であると考えられる。

(3) 唐津地区基礎学力テストの結果等について

唐津地区の基礎学力テストについては、第1回の実施時期が9月であるということで、全国や県の学習状況調査の結果を受けて、個別指導の徹底と繰り返し学習への取り組みを強化した結果、漢字の読み書き、算数の基本的な計算など基礎的な内容であったこともあり、ほとんどの児童が合格することができた。その後も個別指導や繰り返し学習に取り組んだ結果、第2回は全員が合格することができた。今後も、個別指導や繰り返し学習を継続し、基礎学力の定着を図りたい。

(4) CRTについて

昨年度1月実施のCRTの結果では、小4以外は国語、算数とも全国平均、唐津市平均を上回っていた。小学校4年生においては、算数は全国平均、唐津市平均を上回ることができ

たが、国語は全国平均をわずかに下回り、唐津市平均と同じくらいである。領域別に見ると読解力の落ち込みが見られた。今後とも個別指導や繰り返し学習を継続する必要がある。

5 数値目標

- (1) 県の学習状況調査で、国語、社会、算数については県平均を上回る。また、理科については県の平均と同水準にまで引き上げる。全国学習状況調査においては、すべてにおいて全国平均を上回る。
- (2) 唐津地区基礎学力テストは全児童が合格する。
- (3) 学校評価アンケートにおいて、児童自身が「明るく元気な挨拶ができる」と答える割合を90%以上にする。保護者の評価も80%以上にする。

6 アクションⅠ 健康・体力の向上、元気な挨拶

- (1) 正しい食習慣の確立：給食時間のマナー指導や残さず食べる指導
- (2) 健康な体づくり：体育大会・水泳大会、一輪車オリンピック、マラソン大会など、児童に身近な目標を設定させ、進んで取り組ませる。
- (3) あいさつ運動の推進：
 - 元気な挨拶の徹底(校外においても「明るく、大きな声で、自分から」挨拶を行う。)
 - 小中連携した児童会・生徒会活動の挨拶運動の推進
 - 各種集会におけるの挨拶指導

7 アクションⅡ「確かな学力」をつける

- (1) 「ICTを活用した授業改善と校務の情報化」を推進し、ICTの活用による授業改善及び校務の情報化の研究を行う。
- (2) 小中連携による中学校の教科担任による小学校での授業による学力の向上
- (3) 実態の把握と分析(知能検査・県及び全国学力状況調査・唐津地区基礎学力テスト)を行い指導に役立てる。
- (4) 個別指導、繰り返し学習の徹底を図る。
- (5) 自分の考えをいきいきと伝え合うための全校児童による朝のスピーチ活動の実施
- (6) 長期休業中の学習会(寺子屋勉強会)の実施
- (7) 発達段階に応じた家庭学習への取り組みを全職員による共通理解により実施(学習の手引の作成・配布)

8 アクションⅢ 地域や保護者との連携

- (1) 育友会組織との連携協力
 - 体育大会、水泳大会、除草作業、文化祭等の各種行事における連携協力
- (2) 家庭学習の充実に向けての保護者との連携。(学習の手引の作成・配布)
- (3) 学校参観日の参加者増加のための日程や内容の見直し
- (4) 地域人材バンク作成と活用
- (5) ふれあい道徳による授業公開及び育友会との共催による人権・同和教育研修会の実施
- (6) 島内清掃等ボランティア活動への育友会・保護者と協力した実践